

平成28年度県薬病診部会および県病薬事業計画

長野県薬剤師会病院診療所部会

長野県病院薬剤師会

今年度は下記各部のそれぞれの項目を重点目標とし、(部)会員相互の密接な交流のもとに会員の学問的レベルアップを目指す。

1. 総務部

(1) 総務委員会

- ① 通常総会・臨時総会・学術大会を関係委員会と協力して企画および実施
- ② 病院・診療所薬剤師の未加入者へ対する入会の促進
- ③ 賛助会員制度について検討と賛助会員の募集の継続
- ④ 県病薬誌の広告収入の獲得(3万円/P×4P/回×4回/年=48万円)
- ⑤ 会員名簿の作成
- ⑥ 事務局体制の強化(一般社団法人化を含め)について会費問題も含め検討
- ⑦ 日本病院薬剤師会の事業計画を考慮した長野県病院薬剤師会の方向性を検討
- ⑧ 日本病院薬剤師会 病院薬剤部門の現状調査への協力と、調査結果より課題の検討
- ⑨ 日本病院薬剤師会関東ブロック第51回学術大会(2021年)開催への準備

(2) 広報委員会

- ① 県病薬誌の発行(4回)
- ② 広告掲載の段取り(総務部長・総務委員会との連携により広告獲得交渉を行う)
- ③ 委員会(編集会議)の開催(4回)
- ④ 他の都道府県病薬誌の閲覧
- ⑤ ホームページ維持管理への協力
- ⑥ 県病薬アピールのための方策検討

(3) ホームページ委員会

1) ホームページのコンテンツ充実

- ① 新人紹介 来年度新人の先生に一般、学生を対象に原稿を依頼。リレー方式
- ② 病院紹介 各病院の薬剤長(部長)に依頼。紹介形式。
- ③ 勉強会/セミナー活動報告
- ④ 支部勉強会等の活動報告
- ⑤ 委員ブログ
- ⑥ 既存のコンテンツの充実

2) ホームページの機能追加検討

3) メーリングリストの拡充

4) 各委員会との連携強化

5) 5年後の関東ブロック学術大会(長野県主催)の広報

2. 学術部

(1) 学術委員会

1) 平成28年度県病診・県病薬通常総会における特別講演の開催

2) 県病診・県病薬学術大会の開催

特別講演

一般演題

3)薬剤師専門講座の開催

<目的>

薬学における専門分野を系統的に学び、学んだことを自施設で実践することにより、長野県病院薬剤師会会員のレベルアップを目的とする。

第30回薬剤師専門講座 がん治療

第31回薬剤師専門講座 感染症

第32回薬剤師専門講座 CKD・透析

3. 業務部

業務部は、以下の各委員会の事業計画を実施する。

(1)業務委員会

1)業務委員会の活動目標 Purpose

「病院利用者(患者)様に安全で質の高い薬物治療を提供するため、長野県全体の病院薬剤師業務の質向上を図り、業務の効率化/ICT化を推進し、新たな業務の展開を提案・検討する。」

2)具体的な活動計画 Plan

i 病院間の業務に関する連携強化 Network

①第8回業務別「情報交換会」を開催する。

②「病院薬剤師の集い」メーリングリストの利活用の推進。ホームページ委員会と連携して参加者の増加を図る。

ii 研修会開催 Workshop

①シンポジウム形式による病院薬剤業務に関する先進事例の報告。

— Polypharmacy への対応から —

②その他

【Keyword】

Polypharmacy:ポリファーマシー(多剤併用・投与)/薬剤総合評価調整加算(管理料)
Information and Communication Technology(情報・通信に関する技術の総称)

(2)医療安全対策委員会

①長野県看護協会と合同会議の開催

②医療安全に関するアンケート調査

③研修会の開催(7月2日及び9月24日の2回開催を予定)

(3)中小病院委員会

1)活動目標

施設の内外に対して「顔の見える中小病院薬剤師」を目指し、気軽に情報交換できる横の連携体系を構築する。

2)活動計画

①県内におけるおよそ200床未満の会員施設の現状把握

(所属支部、薬剤師数、勤務曜日など)

②「病院薬剤師の集い」メーリングリストについて、関係委員会と連携して参加者の増加を図る。

4. 教育部

(1)新人教育委員会

1)新人研修会の概要と目的

集合研修型の新人教育研修会を事業の大きな柱とする。新人薬剤師に病院間・世代間での人的交流を深めてもらうためにも、可能な限り長野県病院薬剤師会総会、および学術集会の開催に合わせて前期と後期の2回開催する。

研修会の参加資格は原則的に新卒の薬剤師とするが、中途採用や過去の研修会に参加できなかった場合も、事前の参加希望があれば受け入れる。

なお、研修会の開催時間に応じて、適宜食事などの準備を検討する。

2) 新人研修会の内容

新人研修会は、前期は新人教育委員によるプレゼンテーションと新人参加型のディスカッション形式を組み合わせを行い、後期研修については、必要に応じて外部講師を招請する。県内外で先進的・独創的な業務展開を進めている病院薬剤師や大学教員、医療従事者を特別講演の講師として招請する。

参加型研修については、新人薬剤師が主体となり、テーマに沿って新人同士の活発なディスカッションが促されるよう委員が進行をサポートする。

前期研修会の参加で1単位、後期研修会は2日間で2単位とし、年間2単位以上の取得で後期に修了証を授与する。

3) 日病薬生涯研修認定制度との連携

日病薬の生涯研修認定制度（日病薬病院薬学認定薬剤師）との連携体制については、教育部全体の事業として協力し、推進してゆく。また、新人研修が新規制度の認定講習会としての条件を満たすならば、積極的に申請を行う。

(2) 薬学生教育委員会

1) 長野県内施設の実務実習生の受入れ状況の調査

- ① 実務実習に関するアンケート調査を行って県内施設の状況を把握し、問題点を抽出する。
- ② アンケートの解析結果は、関東調整機構に報告するとともに会員施設および調査回答施設にフィードバックする。
- ③ 調査によって抽出された個々の問題については、必要に応じて委員会内で審議して解決の方法を検討する。

2) 改訂実務実習モデルコアカリキュラム（新コアカリ）への対応

- ① 平成31年度から移行予定の新コアカリでの実務実習に向け、調整機構および薬剤師会薬局実務実習推進委員会と積極的に連携して情報共有および協力体制を確立するとともに、会員への情報発信を行う。
- ② 委員会として調整機構主催のスキルアップ研修およびアドバンスドワークショップ等へ積極的に参加し、実務実習指導薬剤師の養成に関わるタスクフォースを輩出する体制を整備する。

(3) 生涯研修委員会

1) 活動目標

薬剤師の資質向上の取り組みとして、薬物療法での薬剤師の独自の視点・責任をもって行動し貢献するため、研修及び専門薬剤師・認定薬剤師養成に積極的に取り組む。

2) 活動計画

- ① 日病薬病院薬学認定薬剤師制度の長野県における運用と実施体制の整備と強化に取り組む。
- ② 研修会への参加、e-ラーニングシステムを活用した生涯学習を推進する。
- ③ 各種研修会・セミナー等の情報共有するための体制を構築する。
- ④ 2年後の日病薬病院薬学認定薬剤師認定試験に向けた準備、情報提供、環境づくりに取り組む。

5. 会計部門

- ① 運営費、会費の適切な運営管理の推進